

2026年5月19日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館  
標本資料センター  
神保 宇嗣

第47回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第47回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。多くの方に参加していただくため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、6月21日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

#### 記

日時：2026年6月27日（土）13時30分～16時30分

場所：Zoom を利用したオンライン会合

事前申し込み：<https://forms.gle/gvDUFr6yR1dpNEYH6>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせします。

申込締め切り：2026年6月21日（日）24時

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク（仮）

プログラムは別紙をご覧ください。

#### 本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・太田 藍乃・柿添 翔太郎・江守 知保

電話：029-853-8277      E-mail [s-net\\_info@kahaku.go.jp](mailto:s-net_info@kahaku.go.jp)

第 47 回自然史標本情報発信に関する研究会  
－S-Net の新システム：入口の変換ツールから出口の GBIF まで－

サイエンスミュージアムネット（S-Net）は、全国の自然史系博物館や研究機関が参加する自然史標本データの共有ネットワークです。参加機関の皆様からご提供いただいた自然史標本などのデータは、S-Net ウェブサイト上のデータベースシステムを通じて公開されています。

本年度は新システムへの更新が実施され、それに伴いデータ変換ツールについても新たな仕様へと刷新されました。従来は複数の工程やツールに分かれていた処理機能を統合し、S-Net 形式のデータ生成までを一連の流れで完結できる変換ツールを整備いたしました。具体的には、日付等のエラーはマッピングで解決し、レッドリストの確認及びデータのマスクを同時に行える仕様となっています。これにより、S-Net 事務局とのやり取りが少なくなり、処理に必要な時間やご負担が減ることで、S-Net 提供データの作成がスムーズになるよう改善されています。

今回の研究会では、新システムの更新内容についてご紹介するとともに、新しい変換ツールにおける主な変更点や、その具体的な使用例についてデモンストレーションを交えて説明いたします。また、実際にアップロードされたデータが GBIF 上でどのように表示され、どのような形で閲覧されるのか、さらにそれらのデータが実際の研究や活用の場面でどのように利用されているのかについても併せてご紹介いたします。本研究会が、今後のデータ提供準備の一助となりましたら幸いです。

<プログラム> 13:30～16:30

- ・ 13:30～13:45 開会挨拶・趣旨説明 神保 宇嗣（国立科学博物館）
- ・ 13:45～14:10 S-Net システムの更新について 神保 宇嗣（国立科学博物館）
- ・ 14:10～15:25 新しくなった変換ツールー変更点と操作のポイントー 太田 藍乃（国立科学博物館）
- ・ 15:25～15:40 休憩（15分）
- ・ 15:40～16:20 S-Net データを GBIF で見てみよう！ーGBIF サイトのデモー 柿添翔太郎（国立科学博物館）
- ・ 16:20～16:30 閉会挨拶 神保 宇嗣（国立科学博物館）

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：<https://forms.gle/gvDUFr6yR1dpNEYH6>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。